

## 山口県特定不妊治療費助成事業申請書

関係書類を添えて下記のとおり特定不妊治療費の助成を申請します。

## 記

	(ふりがな) 氏名	生年月日	
夫	( )	昭和・平成	年 月 日( 歳)
妻	( )	昭和・平成	年 月 日( 歳)
住所(※1)	〒 _____ 電話 ( )		
住所(※2)	〒 _____ 電話 ( )		
申請者氏名 _____ 印 _____ 印		(夫及び妻が記名押印)	
申請額 (男性不妊治療分除く)	金 _____	円	
申請額 (男性不妊治療分)	金 _____	円	
申請額合計	金 _____	円	
平成	年	月	日
		山口県知事 _____ 様	
過去に山口県又は他の都道府県・指定都市・中核市から特定不妊治療費の助成を受けたことがありますか。			
<input type="checkbox"/> ない <input type="checkbox"/> ある(以下に記入)			
助成自治体	助成時期	助成金額	助成自治体
	年 月	円	年 月
	年 月	円	年 月
	年 月	円	
振込先	金融機関名	銀行 本店 金庫 支店(支所) 農協 出張所	
	預金の種類	普通 当座	(ふりがな) 口座名義人
	口座番号	右詰記入	
申請受理年月日		(承認・不承認) 決定年月日	
受給者番号			

注)太枠の中をご記入ください。

※1:夫婦の住所を記入する。

※2:夫婦の住所が異なる場合に記入する。住所が異なる場合とは、単身赴任等で夫と妻が異なる場所に住所を有する場合をいう。

- (添付書類) 1. 山口県特定不妊治療費助成事業受診等証明書(領収書添付)  
 2. 法律上の婚姻をしている夫婦であることを証明できる書類  
 (1ヶ月以内に発行されたもの)  
 3. 児童手当法施行令による控除が確認できる所得証明書

別記第1号様式(裏)

治療の内容・結果および妊娠の経過について行政への報告を行うことに関する  
説明書

(1) 報告の目的

厚生労働省では、特定不妊治療を行う医療機関に対し、行われた特定不妊治療の内容・結果および妊娠の経過について、日本産科婦人科学会を通じた報告への協力を求めています。

これを集計し分析することにより、厚生労働省は、助成事業の成果を把握し、今後の助成事業の制度を一層充実していく上で検討の参考とすることができます。また、行われた治療の効果を把握することにより、わが国の不妊治療の発展のために参考となる学術データを得ることができます。

さらに、厚生労働省は、助成事業を実施する都道府県・指定都市・中核市に対し、集計・分析結果を提供し、都道府県・指定都市・中核市も事業の成果を把握し、助成事業の充実に役立てることができるようにしています。

(2) 報告の内容・方法

各医療機関から、日本産科婦人科学会のデータベースを通じ、下欄の項目の統計情報として、厚生労働省に報告されます。

報告には個人名の記載はなく、内容は統計的に集計され、行政側は全国の患者さんの状況について総計として把握することとなります。個人が特定されることはなく、プライバシーは厳守されます。

報告・集計される項目

[報告は医師が行います。患者さんが行うことはありません。]

- |                 |              |
|-----------------|--------------|
| I 治療から妊娠まで      | II 妊娠から出産まで  |
| (1) 患者(女性)の年齢   | (4) 妊娠・出産の状況 |
| (2) 不妊の原因       | (5) 生まれた子の状況 |
| (3) 治療の内容、妊娠の有無 |              |

-----  
以前の受給歴について以前にお住まいの自治体に確認を行うことに関する  
説明書

この助成金は、限られた公費予算からの公正な支出を行うため、1夫婦あたりの支給回数の上限が決められています。

転入された方は、以前にお住まいの自治体に、この助成金の以前の受給状況を確認することがありますのでご承知ください。

なお、情報の取り扱いには十分留意し、プライバシーは厳守します。